

久喜市議会だより

No.5

平成23年5月1日

発行/久喜市議会 編集/久喜市議会広報委員会 〒346-8501 久喜市下早見85の3 ☎0480(22)1111(代)
FAX 0480(21)6061 [HP] <http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html> [E-mail] gikai@city.kuki.lg.jp



▲イトーヨーカドー（久喜市久喜中央）の前で、街頭募金活動を行いました（2面参照）

みなさんの写真を表紙に掲載しませんか？

久喜市内の地域の行事、風景などの写真をお待ちしております。

詳しくは、P5をご覧ください。

6月定例会のお知らせ

平成23年6月定例会は、次の日程で午前9時から開催される予定です。

月日	内容	概要
5月30日(月)	委員会	議会運営委員会
6月6日(月)	本会議	開会、議案上程
6月9日(木)		市政に対する一般質問
6月10日(金)		市政に対する一般質問
6月13日(月)		市政に対する一般質問
6月14日(火)		市政に対する一般質問
6月16日(木)		議案質疑
6月17日(金)	委員会	予算常任委員会
6月20日(月)		総務財政市民常任委員会
6月21日(火)		環境建設水道常任委員会
6月22日(水)		福祉健康常任委員会
6月23日(木)		文教常任委員会
6月28日(火)		本会議

主な内容

2月定例会の概要	(2)
提出議案とその結果	(3)
代表質問	(4)～(5)
市政に対する一般質問	(6)～(14)
委員会	(15)
陳情	(16)

2月定例会

会期2/7(月)～3/18(金)

概要

平成23年2月定例会は、2月7日から3月18日までの40日間の会期で開催され、市長提出議案34件は全て原案通り可決されました。議員提出議案については3件が提出され、2件が可決されました。継続審査となっていた意見書1件は否決されました。請願1件は不採択となりました。

○ 議長に岸輝美氏、副議長に梅田修一氏を選出

2月定例会において、岸輝美議長、梅田修一副議長がそれぞれ選出されました。

就任あいさつ

2月定例会におきまして、議長並びに副議長の要職を担うこととなりました。身に余る光栄でありますとともに、その責任の重大さを痛感しております。

1市3町の合併から1年余りが経過しました。一層の行財政改革の推進が求められる中、市民の皆様の声を市政に十分に反映させ、将来の久喜市の軸となるべき基盤をしっかりと整えることができるよう、議会の権能を最大限に発揮し、活力ある議会運営に努めていく所存です。

今後とも、市民の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。



議長
岸 輝美



副議長
梅田 修一

○ 東日本大震災について

2月定例会の会期中である3月11日に、東北地方太平洋沖地震が発生しました。久喜市議会では福祉健康常任委員会の開催中であり、会場である本庁舎4階の大会議室も非常に激しい揺れに見舞われましたが、幸いにも怪我人などはありませんでした。

揺れがおさまった後、避難指示に従い屋外へ避難したため、この日の委員会は中断し、3月14日に議事の続きを行いました。また、3月15日には講師の先生をお招きして「議会基本条例について」の研修会を予定していましたが、計画停電による公共交通機関の混乱等の事情を鑑み、急遽中止といたしました。

2月定例会の最終日である3月18日には、会議の冒頭、今回の震災でお亡くなりになった方々への哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。

また、この地震による市内公共施設の被害に対応すべく、最終日には補正予算が計上されています。

○ 被災地に義援金を送りました

2月定例会閉会後の3月23日から26日にかけて、議員全員で構成する「久喜市議会議員クラブ」により、被災地に送る義援金の街頭募金を行いました。市内のJR・東武鉄道の各駅や商業施設などにおいて実施したところ、総計713,098円の募金をいただきました。皆様の真心のこもったご協力、本当にありがとうございました。

なお、いただきました募金につきましては、3月30日付で、財団法人埼玉新聞社会福祉事業団を通じ被災地に送付しております。また、この募金とは別に、議員クラブから17万円を義援金として送付しております。被災地の一日も早い復興を、心からお祈りいたします。

議会日誌

【平成22年】

12月27日

第2回広域利根斎場組合議会定例会

【平成23年】

1月 4日

議会広報委員会

1月12日

議会広報委員会

1月14日

文教常任委員会所管事務調査

1月17日

愛知県豊橋市議会行政視察来庁

1月18日

議員全体研修会

代表者会議

環境建設水道常任委員会

1月19日

大阪府阪南市議会行政視察来庁

1月20日～21日

予算常任委員会行政視察

1月24日

代表者会議

1月24日～25日

久喜宮代衛生組合議会行政視察

1月25日～26日

埼玉県市議会議長会第4区議長会

議長視察研修会及び議長会

1月27日

第6回消防広域化第7ブロック協議会

1月28日

環境建設水道常任委員会

1月31日

議会運営委員会

2月 3日

環境建設水道常任委員会

2月 4日

埼玉県市議会議長会議員行政研修会



▲義援金募金のご協力ありがとうございました

提出議案とその結果

※付託委員会

(予) 予算常任委員会

(総) 総務財政市民常任委員会

(環) 環境建設水道常任委員会

(福) 福祉健康常任委員会

(文) 文教常任委員会

○…賛成 ×…反対 ▲…退席

飛翔……飛翔 政策……政策会議 公明……公明党 共産……日本共産党 無派……無会派

●2月定例会（市長提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第1号	平成22年度久喜市一般会計補正予算(第4号)について(予)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第2号	平成22年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第3号	平成22年度久喜市介護保険特別会計補正予算(第3号)について(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第4号	平成22年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第5号	平成22年度久喜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第6号	平成22年度久喜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第7号	平成22年度久喜市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第8号	平成22年度久喜市水道事業会計補正予算(第2号)について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第9号	平成23年度久喜市一般会計予算について(予)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第10号	平成23年度久喜市国民健康保険特別会計予算について(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第11号	平成23年度久喜市介護保険特別会計予算について(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第12号	平成23年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算について(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第13号	平成23年度久喜市下水道事業特別会計予算について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第14号	平成23年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第15号	平成23年度久喜市土地区画整理事業特別会計予算について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第16号	平成23年度久喜市土地取得特別会計予算について(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	平成23年度久喜市水道事業会計予算について(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第18号	久喜市行政改革推進委員会条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	久喜市公共施設整備基金条例を廃止する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	久喜市国民健康保険条例の一部を改正する条例(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	指定管理者の指定について【久喜市立つばめクラブ他】(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第23号	指定管理者の指定について【久喜市立くりっ子放課後児童クラブ】(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第24号	指定管理者の指定について【久喜市立風の子学童保育クラブ他】(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第25号	指定管理者の指定について【久喜市立ほほえみ放課後児童クラブ】(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第26号	広域利根斎場組合の規約変更について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	字の区域を変更することについて(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	路線の認定について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	路線の廃止について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	平成22年度久喜市一般会計補正予算(第5号)について(予)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	平成22年度久喜市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	久喜市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同意
議案第33号	久喜市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同意
議案第34号	久喜市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同意

●2月定例会（議員提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議員提出第1号	久喜市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
意見第1号	地上デジタル化放送の完全移行の延期を求める意見書	×	○ ¹ × ₆	×	○	×	否決
意見第2号	朝鮮学校への無償化適用に反対する意見書	○	○ ⁶ × ₁	×	×	○	原案可決
意見第15号	【継続審査】TPP交渉への参加方針撤回を求める意見書(環)	×	○	×	○	×	否決

●2月定例会（請願）

請願番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
請願第1号	国民健康保険税の引き下げを求める請願(福)	×	○ ⁵ × ₂	×	○	○	不採択

○ 予算常任委員・決算常任委員を選出

2月定例会初日に、予算常任委員と決算常任委員の構成員が入り替わり、新たな予算常任委員・決算常任委員となりました。

- | | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 予算常任委員会 (16名) | ○並木 隆一 | ○青木 信男 | ○戸ヶ崎 博 | ○鈴木 精一 |
| | 石田 利春 | 木村 奉憲 | 渡辺 昌代 | 杉野 修 |
| | 井上 忠昭 | 大谷 和子 | 梅田 修一 | 園部 茂雄 |
| | 上條 哲弘 | 春山 千明 | 富澤 孝至 | 田村 栄子 |
| | 齋藤 広子 | 柿沼 繁男 | 矢崎 康 | 田島 行雄 |
| | 猪股 和雄 | 石川 忠義 | 鈴木 松蔵 | 内田 正 |
| | 新井 勝行 | 岡崎 克巳 | 宮崎 利造 | 大鹿 良夫 |
| | 足立 清 | 松村 茂夫 | 山田 達雄 | 鎌田 忠保 |
- ◎委員長 ○副委員長

意見書

議員提出議案として提出され、可決された意見書を関係大臣に送付しました。

○朝鮮学校への無償化適用に反対する意見書

内閣総理大臣・法務大臣・外務大臣・文部科学大臣・拉致問題担当大臣

人 事

下記の人事について議会の意見を求められ、同意しました。

●久喜市教育委員会委員

高木 学氏(久喜市本町6丁目)

●久喜市人権擁護委員

榎本 恭子氏(久喜市久喜中央2丁目)

橋本 久雄氏(久喜市久喜中央4丁目)

平成23年度施政方針に対する代表質問

2月定例会初日に、田中市長が施政方針演説を行い、その演説に対し、各会派から2月20日に代表質問が行われました。その概要について掲載いたします。

なお、施政方針演説の全文は久喜市ホームページに掲載されています。

施政方針



▲施政方針演説を行う田中市長

政府においては、地域住民が自らの判断と責任で決めることができる真の地域主権を進めていくことが強く求められている。

こうした情勢を踏まえ、本市としても引き続き財政健全化に取り組むとともに、より安定した行財政基盤の構築による自主・自立のまちづくりを目指し、久喜市総合振興計画など、5年・10年先を展望した今後の久喜市の礎となる条例や計画を定めていく。

平成23年度当初予算案は、本市にとって本格的に編成した初めての予算で



代表質問

飛翔
並木隆一 議員

問 近隣市町とのさらなる合併を行い、中核都市を目指すのか、首都圏から50km圏の近郊都市として特色ある田園都市を維持していくのか、久喜市としての立ち位置についてどう考えているのか。

答 現時点では新久喜市の発展のための基盤づくりに全力を尽くすべきであるが、将来的には、新たな合併に対する機運が高まった段階で、次の合併に向けた検討が必要になってくると考えている。

問 久喜地区・菖蒲地区・栗橋地区・鷲宮地区の全

体を俯瞰し、将来に禍根を残さないような未来予想図を描かなければならないと考えるが、市の基本的な考え方は。

答 新たな魅力を創出したまちづくりを進めると共に、今後もそれぞれの地域資源を生かした土地利用や道路網を計画するなど、埼玉県東部の拠点都市として、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたい。

問 新市として最適なシステムの構築、事務執行を模索すべきだが、市の考えは。

答 合併前の事務一元化作業の中で統一を図ってきたが、事務執行の手法は不変的なものではない。今後も市民サービスの向上を第一の視点として、合併前のそれぞれの手法も精査し、地域の皆様の意向等も確認しながら柔軟に取り組んでいきたい。



代表質問

政策会議
富澤孝至 議員

問 本年度予算を作成するにあたり、地方主権の観点から、地域経済の活性化、地方行財政改革の基本的な考え方について。

答 地域経済の活性化に取り組むためにも、最小の経費で最大の効果を上げること、優良企業の誘致など、地方が自由に使える財源が得られる施策を念頭に編成作業を進めた。

また、行政改革の基本的な考え方として、改革は不断に取り組むべき課題と捉え、新たな行政改革大綱を

策定する。

問 済生会栗橋病院が建設する地域救急センター整備に係る経費に市は助成するとしているが、他の病院で医療設備整備のために市に対し助成を求めた場合も、明確な基準を作成し助成すべきではないか。

答 第三次救急医療、高度医療を提供できる医療機関が整備されることにより、市民の安心・安全に寄与されるか否かなど、その都度、総合的に判断し、補助金交付要綱などを定めた上で対応していく。

問 合併効果を最大限に活用し、組織の合理化や事務改善を行うとする市長の決意を伺う。

答 究極の行財政改革と言われる合併の効果を最大限に発揮できるよう、現状の課題を精査し、引き続き組織及び事務事業の見直しを行っていく。

○合計22項目に及び、質問いたしました。

あり、将来の発展に必要な事業について積極的に取り組むことを基本として予算編成に臨んだ。合併から2年目を迎え、従来からの懸案事業が完成または完成につながる大きな進展が期待される年であり、さらに将来の望ましい久喜市を考えたとき、その基礎作りのために極めて重要な1年であると認識している。

久喜市の将来像である「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」の創造のために、新しい久喜市の歴史を作っていくという信念のもと、謙虚に市政執行をしていく決意である。

みなさんの写真を表紙に掲載しませんか？

久喜市内の地域の行事、風景などの写真をお待ちしております。

＜応募規定＞

- 久喜市内で撮影されたものに限りです。
- 応募作品は原則として返却しません。
- 応募作品は未発表のものに限りです。
- 作品の著作権は、すべて久喜市に帰属します。
- 人物等が写っている場合は、必ず被写体の方の承諾を受けて下さい。
- 作品に住所・氏名・撮影場所を添付して下さい。



問合せ・申込先：久喜市議会事務局議会総務課 庶務・調査係
〒346-8501 久喜市下早見85-3
TEL 0480-22-1111 (内線5112)
FAX 0480-21-6061
E-mail gikai@city.kuki.lg.jp



代表質問

公明党
足立 清 議員

問 地域住民の意見をより反映させる姿勢が大事である。垣根のない一体感のある行政運営について、市長の考えは。

答 市の一体性を醸成する上では、旧1市3町各地域が培ってきた歴史・文化・伝統などの地域資源をさらに活用した地域コミュニティの活性化が、より重要である。

問 乳がん・子宮頸がん等のがん対策の内容充実や検診受診率向上についての取り組みは。

答 女性の健康支援の重要性に鑑み、引き続き女性特有のがん検診事業に取り組んでいく。集団検診の日程を追加し、全ての保健センターで胃がん・肺がんの同時受診日を設定するなど、より一層受診しやすい環境整備に努めていく。

問 都市計画マスタープランについて、JR 宇都宮線東側の幹線道路の計画を含め、どのように計画策定に取り組むのか。

答 現在、久喜地区の都市計画道路杉戸久喜線から青毛下早見線を通り、鷲宮地区の都市計画道路産業団地線を経由し、栗橋地区の県道阿佐間幸手線までの幹線道路を計画している。このように早急に整備の必要な計画道路を含め、都市計画マスタープランにおいて、しっかりとした道路交通網を計画していきたい。



代表質問

日本共産党
杉野 修 議員

問 久喜市としては、現政権の示す「地域主権改革」について、どのようなスタンスで臨むのか。

答 地域主権改革は重要であると考えているが、現段階ではまだ不十分であり、さらなる権限委譲の推進とそれに伴う財源の移譲など、地域の実情に合った取り組みが必要と考える。

問 平成23年度の少子化対策について、市の方針は。

答 「久喜市次世代育成支援行動計画後期計画」を

策定し、総合的・計画的に各種施策を推進している。23年度は子育て支援ホームヘルパーの派遣期間・回数の拡充や、鷲宮地域の地域子育て支援センターとファミリーサポートセンターの併設施設の整備などを行っていく。

問 鷲宮地区中央1・2丁目や上内わしみや団地内の市道、西大輪 JR 線西側一帯などを中心として大雨・浸水対策が遅れている。急ぎ具体化を図るべきだが。

答 加須市と「青毛堀川改修事業整備促進期成同盟会」を設立し、県へ要望を重ねた結果、花崎遊水地の完成や鷲宮小学校前の第4調整池の工事着工などが実現した。西大輪地区内水路の浚渫工事の実施などとあわせ、大雨・浸水対策に大きな効果が得られると期待している。



春山千明 議員
(政策会議)

久喜市の公立保育園建て替え
について (他4項目)

問 昨年9月議会、11月議会と引き続き、久喜市立さくら保育園の早期建て替えに関する質問をした。その後、両園改築のための、実施調査の進捗状況と建築計画策定のスケジュールを伺う。

答 さくら保育園は現在とは別の場所に新園舎を建築し、すみれ保育園は現在の敷地内に新園舎を建築。鉄骨造りの平屋700㎡程度の面積で建築という調査結果が出た。これをもとに平成23年度以降の改築に向けた具体的スケジュールを定めていく。



石田利春 議員
(日本共産党)

栗橋南小学校自校方式の給食を
継続すべき

問 学校給食の運営は、自校方式が最も優れている。北校舎建て替え後も、PTAの皆さんは自校方式の給食を望まれ、継続を求める見解も出されている。市の見解は。

答 給食審議会で、自校方式が望ましいという答申が出た場合、それを重く受け止めて検討する。

電気料など無料に

問 スポーツ少年団など学校施設を利用する際の電気料や高齢者団体が施設を利用する際は、施設使用



石川忠義 議員
(政策会議)

栗橋から久喜駅周辺間の幹線道路
を整備すべきであるが、市の考え
を伺う

問 現在も大量の自動車などが通行している東北新幹線高架下の市道全線を補強整備することで、南栗橋・鷺宮・久喜駅周辺への交通の流れがスムーズになる。計画的に補強整備すべきであるがいかか。

答 全線の補強整備は、多額の費用が想定されるので、早期は難しい。

問 市は、既に陥没している所などを把握している。市民からの通報を待つことなく、積極的に修繕を行うべきであるがいかか。

小中学校における特別支援学級の充実を求める

問 久喜市立小中学校における特別支援学級を、それぞれの学校における児童生徒の状況に応じ、さらに充実(障がいに合わせて学級を設置)するべきであるが、いかがか伺う。

答 来年度、特別支援学級の充実のため、5つの学校に、あらたに5つの学級を設けたいということで、県と協議をし、関係書類等を提出した。(久喜小、青毛小、久喜北小、栗橋小、鷺宮小)

その他の質問 ◇備前堀橋、前堀新橋の安全管理や周辺環境整備について◇小中学校プールの改修を進めるべきだが◇公共施設予約システムの構築を早期に進めるべきだが



料は無料にすべき。

答 スポーツ少年団が利用する電気料は免除している。

住宅リフォーム助成制度創設を

問 地域経済にも大きな経済効果を生む、住宅リフォーム助成制度を創設すべき。市の考えは。

答 一定程度の経済効果、財政効果はあると認識している。今後研究していく。

国保税の引き下げを

問 一般会計からの繰入額を増やし、高く払いきれない国保税の引き下げを。

答 繰入を行えば引き下げは可能。財政状況を見ながら総合的に検討する。



答 質問者の指摘通り、計画的に維持管理に努める。また、地先の方や区長からの連絡で対応することもあると思う。

福祉オンブズパーソンによる発意調査の充実を

問 福祉オンブズパーソンは、福祉や保健・医療などに関する市民からの苦情や相談を受けつける制度である。しかし福祉などのサービス充実のために、苦情・相談の申し出がなくても、自らの問題意識で自発的に事業や施設を調査する、発意調査が必要である。市はこれを促すべきであるが、考えを伺う。

答 発意調査は、職員の問題意識を喚起し、問題事案の発生防止にもなる。できれば定期的にオンブズパーソンに集まってもらい、要望に応じて市が説明をしたい。また、施設を見る場合には、市が調整を行う。まずはこのようにスタートをしていきたい。



齋藤広子 議員
(公明党)

買い物弱者対策について・他

問 官民共同事業として「暮らし便利帳」を作成してはどうか。

答 予算をかけずに市民生活に身近な情報を提供できる事は、大変魅力的であり、市民サービスの向上にもつながる面も大きいと考えている。

問 重度心身障がい者及び、ひとり親家庭の医療費の窓口払いの廃止について。

答 ひとり親家庭医療費の方は、医療機関において世帯の所得を把握する事は、困難なので難しい重度



岸 輝美 議員
(飛翔)

新学習指導要領完全実施と久喜市の教育行政について

問 地域教育力の学校経営への参加=学校運営協議会・コミュニティスクールの導入を求める。

答 運営協議会のあり方や教育方針の継続性、制度の広がりが見られない等から研究課題としたい。

問 どこに問題点があるか理解できない。全国で21年度629校、22年度847校と広がりを見せている。

答 地域的なばらつきがあり埼玉県内では1校のみに留まっている。県費負担教職員の人事権等の問題点がありもう少し時間をいただきたい。



内田 正 議員
(政策会議)

子ども手当の地方負担金は全額国に求めるべきだが

問 久喜市も厳しい財政状況下である中で、ばらまきの子育て支援策は見直して、所得制限などをして子ども手当金の支給をすべきである。したがって、その地方負担金は全額国に求めるべきだが。

答 今国会に提出されている23年度子ども手当法案では、所得制限を設けないこととされている。この点については、国においてさらに十分な議論がなされるものと考えている。財源については、児童手当法に基づく児童手当の仕組みを残して作られて

心身障がい者の方は、既に実施している自治体を参考に今後研究して参りたい。

問 買い物弱者対策として買い物マップを提案したが進捗状況はどうか。地域支え合いの仕組み事業を活用できないか。

答 買い物マップは、関係資料の収集を行い事業の検討を行っている所である。モデル的な取り組みであるが、地域支え合いの仕組み作りを進めている。今後広げられるよう努めて参りたい。

その他の質問 ◇野原園芸の横の稲荷橋の拡幅と久喜4号線の橋近くの周知と工夫について



問 そういう個別的事務の話になると専門外には良く解らない。この制度はかつて規制緩和と学校間競争としてあったが、今は行政・教委と地域・家庭との協働で学校経営を、と進化している。確かに県内は少ないが久喜には「ゆうゆうプラザ」に代表される高い地域教育力がある。1校モデル校を決めてぜひとも導入を求める。

答 確かに久喜市の高い地域教育力は高く評価している。しかしいくつかクリアせねばならぬ点がありもう少し時間を頂きたい。

その他の質問 ◇新学習指導要領完全実施を前に全ての準備を終えたか◇指導要録の評価や考え方について◇新学習指導要領が言う『知徳体バランスのとれた「生きる力の育成」』の中味とは◇全ての教科に導入される「言語活動の充実」の中味は

いる制度であり、法律により市町村の費用負担が明記されているので、当該負担をしないことは制度的にはできない。しかし、市としては、子ども手当については全額国庫負担とすべきとの考えに立っている。今後国においてさらなる議論がなされ、全額国庫負担となるよう期待するものである。

問 子ども手当の支給金から保育料などの滞納金を差し引き支給した自治体もあるようだが、こうした方法を何故やれないのか。

答 現行の子ども手当法では認められていないが、今国会に提出されている23年度子ども手当法案では、保育料を子ども手当から直接徴収することが可能となる等の規定が盛り込まれている。具体的な制度の概要が明らかにされていないが、今後とも国の動向等を注視していきたい。



田村栄子 議員
(無会派)

発達障がい者支援の現状について

問 久喜市の自閉症や注意欠損多動障がいなどの発達障がいの現状をどのように把握しているか。また、合併後の市内各学校単位での発達障がいの児童生徒に対して、教職員の認識と理解に格差が生じているとの声があるが現状はいかがか。

答 子育て支援課の家庭児童相談室にて対応しており、保健センターでも1歳6カ月児、3歳児検診などで早期発見に努めている。教職員には市教育委員会として、全教職員の発達障がいへの理解を深めるた



盛永圭子 議員
(飛翔)

成人式について

問 1月9日、市内4会場で成人式が行われた。久喜市では1,729人が新成人となった。今まで続けてきた記念の集合写真をなぜ撮らなかったのか。

答 旧久喜市では記念写真を今まで撮らなかった。旧3町では撮っていた。各地区で行う式典は統一したほうが望ましいと判断し、実施しなかった。

問 旧3町が記念写真を撮っていたというのに、撮らないことは久喜市に合わせたということではないか。これでは対等合併ではない。旧3町のいいとこ



渡辺昌代 議員
(日本共産党)

指定有料ゴミ袋と清掃センターへのゴミ持ち込みについて

問 ゴミを分別収集して、減量化を目指すことは自然環境を守る上でも重要なことである。しかし旧3町の指定袋は、余分な出費やゴミを増やさないと考えれば、なくすべきと思うが。また、菖蒲清掃センターでは、ゴミの持ち込みは一般家庭のゴミでも有料である。ある程度の緩和が必要ではないか。

答 久喜宮代衛生組合の廃棄物減量等推進審議会でも審議をしている。その答申を得て、衛生組合による方向性が出るものと考えている。

め、夏季研修会を実施した。

久喜市立栗橋西中学校の水泳用プールの現状と今後の対策について

問 当市内の中学校のプールの現状と水泳授業の現状を問う。また、久喜市立栗橋西中学校のプールは平成15年に修理不能となっているが、再建予定はどうか。平成15年度から水泳授業はB&G海洋センターのプールで行われており、学校とセンターまでの交通事故を心配するが、考えを伺う。

答 市内中学校11校中、プール使用可能な学校は4校で、プール無しまたは使用不能は7校である。この内4校は地元のプールを使用し、他の2校は器械運動等の実施に対応している。栗橋西中のプール再建は財源上難しい。また、栗橋西中のセンターまでの移動中は複数教員で当たっている。

ろは残してほしい。来年度は実施してほしい。

答 今回は4会場で実施したということで、記念写真撮ることが難しかった。教育委員会内の協議等を行い、他市例を参考に検討する。

栢間小学校・上栢間地区に手押し信号機の設置を

問 栢間小学校の正門前には県道行田蓮田線が通っている。正門前はカーブをしていて見通しが悪く危険である。是非とも手押し信号機の設置を望む。

答 交通量が多く、道路もカーブしているため横断歩道付近の見通しが悪く危険である。手押し信号機の設置について久喜警察署に対し要望する。

問 上栢間地区小川牛乳店前の交差点に手押し信号機の設置を望む。

答 横断歩道があるが市道からの見通しが悪い。手押し信号機の設置を久喜警察署に要望する。

公民館の予約とキャンセルについて

問 公民館の使用料は、かなり前のキャンセルであっても払い戻しがしてもらえない現状である。次回への振替えや返金をするべきでは。

答 現在、自己都合等で予約を変更する場合は、使用料の還付及び日程の振替えは行っていない。

少人数学級の推進について

問 県による小1、2年生35人学級の特例措置は3年生に移行する、もしくは学年が進むときに40人学級となりクラス減にならない措置をするなど、少人数学級の推進ができないか。

答 文科省の計画案に基づく学級編制の引き下げが早急に実施されることを強く期待している。

その他の質問 ◇国保税の引き下げをするべきだが。保育園の整備計画の具体的な取り組みを。



鎌田忠保 議員
(飛翔)

道路後退部分について

問 家を新築または建て替えをする時、隣接する公道が4mに満たない場合、建築基準法により道路中心線から2m後退して道路と宅地の境にする。しかし、この道路は、市道ではあるが4mに満たないので、不足部分を後退した土地を、道路改良をする時に未登記で個人名との理由で、工事費を個人に負担させるとの事だが、公道として利用している土地を個人に負担させるのは納得できない。行政としてどう考えているか伺う。

答 原則的には地先の所有者の方が維持管理をしていただくのが大原則だが、質問者の指摘のとおり、公道として広く市民の皆様が通行できる道路は、これを契機として、本庁、各総合支所、建設課のほうと、いい事例にさせてもらいながら行政の指導にも対応していく。



宮崎利造 議員
(飛翔)

単身高齢者対策について

問 災害時における単身高齢者の安全確認について、市はどう行うのか考えを伺う。

答 旧久喜市で進めていた久喜市要援護者見守り支援事業を全市域に広げるべく現在取り組んでいる。災害発生時に要援護者を的確かつ迅速に安否確認し、避難誘導を行うには、あらかじめ援護を必要としている方の状況を把握していることが不可欠なので、平常時から要援護者の情報を把握し、名簿の作成に努めている。名簿の情報は、区長、民生・児童

委員、そして自主防災組織の方々に提供し、日常の見守り活動にも活用するとともに、災害時には地域の支援を受けられる体制づくりを進めている。

食育計画の推進について

問 学校教育現場でどう子供たちに収穫の楽しみや食の大切さを教えていく考えなのか、伺う。

答 埼玉の子ども70万人体験活動の一環として、みどりの学校ファーム推進事業に取り組んでいる。みどりの学校ファームとは、学校を単位に農園を設置し、児童生徒が農業体験活動を通じて命や自然、環境や食物などに対する理解を深めるとともに、情操や生きる力を身につけることをねらいとした取り組みである。体験を通して収穫の喜びや自然のすばらしさ、食の大切さなどを実感してもらっている。今後も引き続きこの事業の推進に努めていきたい。



松村茂夫 議員
(飛翔)

合併1年の検証について

問 合併1年を迎えるに当たって、総合支所のあり方について、市民からの声は。

答 本庁と各総合支所の連携が十分でなく、業務の範囲がわかりにくいなどの厳しい意見をいただいている。今後は市民サービスの低下を招かぬよう、本庁と総合支所、また総合支所間においても、より緊密な連携を図りながら業務の推進を図ってまいりたい。

問 総合支所には5つの課があるが総合支所長の決

裁権は総務管理課だけである。総合支所長の責任と役割は適正か。

答 現在の総合支所長の権限は、指揮命令系統や責任の所在が不明確にならぬよう、簡素で効率的な組織機構としたところである。この組織の中で合議、協議、調整などを充実させて、総合支所全体の把握、総合支所長としての責任、役割を果たしていけるよう徹底していきたい。

問 区長手当の減額について。

答 報酬額算定にあたり旧1市3町間において大きな差異があることから、区長等の報酬額は、報酬と区運営費補助金の総額を上限に平準化した。そのため、報酬と補助金の総額は久喜地区で減額、菖蒲、栗橋、鷲宮地区で増額となった。今後も4地区の区長の意見を伺いながら調整していきたい。



木村奉憲 議員
(日本共産党)

**市民要望が大きい高すぎる
国保税の引き下げを**

問 高すぎる国民健康保険税を引き下げ、いのちと健康を守るべきだ。市民から今回一万名以上の引き下げを求める署名が提出されている。

答 多くの署名で市民の関心の高さを改めて認識した。しかし国保は低所得者などが多いこと等、厳しい運営で、税率を容易に引き下げることが困難だ。

問 そこを支え、引き下げのためにも一般会計からの繰り入れを図るべきだ。県内でも非常に低く、わずか2億6千万円。同じ規模の市と比較すると、入

間市21億円、狭山市11億8千万円などだ。滞納者が増え、資格証明書が発行され、受診が抑制され重症化し、医療費増という悪循環を止めるためにも繰り入れを増やすべきだ。皆保険制度の中、いのちと健康を守るのが国と地方自治体の責務だ。

答 新しい税率設定の中、繰り入れも今後財政状況を勘案しながら決めていきたい。

介護保険制度改革案への市の対応は

問 厚労省が2月10日の介護保険制度改革案で、生活支援サービスなどの削減（ボランティア対応）か、現行で維持するかを自治体の選択で出来る事や施設での部屋料の見直しなど提案し問題だ。

答 サービスの抑制や利用者の切り捨てにならないように、利用者の視点にたった対応を検討する。施設の部屋料金も一律の見直しは慎重にすすめる。



戸ヶ崎博 議員
(公明党)

公園の整備拡大について

問 借地方式の公園の拡大はどうか。また、芝生化及びトイレを洋式にすべきと考えるがどうか。

答 公園の拡大については全市を対象に借地方式での設置及び地元の管理委託に取り組む考えである。また、公園の芝生化は非常に有意義であると考えている。既設、新設を問わず芝生化が可能な公園は実施をしていく。

公園利用者の高齢化を考慮し、今後新設する公園のトイレは洋式にしていく。また、既設の和式トイ

レについては交換が必要な時、設置スペースが確保できる場合など洋式化を図っていく。

雇用の拡大の取り組みについて

問 菖蒲南部・北部工業団地の進展に伴う雇用の拡大に対する取り組みについて

答 菖蒲南部工業団地には現在4社が決定。その1社YKK(株)については今夏の操業を目指している。従業員は250名で、23年度においては市内及び周辺の高校から12名の採用を予定しているとのこと。地元からの雇用について進出する各企業に対し積極的に進めていただくようお願いしていく。

公的文書の文字の拡大について

問 高齢社会の中であり公文書等の文字の拡大を。

答 今後、公的文書などの作成に当たっては、なるべく文字を大きく見やすい文書の作成に心がける。



梅田修一 議員
(飛翔)

鷺宮南部開発について

問 周辺道路の開通により、商業施設の早期開店が多く市民から期待されている鷺宮南部開発であるが、進捗状況を伺う。

答 平成22年8月12日に市道鷺宮17号線延長1,290m、同年12月24日に市道久喜30号線と鷺宮85号線及び84号線の一部延長1,100mが開通した。今現在も他の道路を工事しており、鷺宮南部開発(株)によると全体の工事完成は今年の3月から4月を見込んでいるとのこと。

問 商業施設開店までの見通しについて伺う。

答 同事業者によると現在店舗規模の再検討をしており、今後は大規模小売店舗立地法の法的な手続や計画変更の地元説明会を行い、平成24年度の開店を目指しているとのこと。

道路整備について

問 市道鷺宮6号線のわし宮団地内、鷺宮保育園前の横断歩道は、園児・保護者・地域住民の方々の安全の確保という観点から手押し式信号機の設置が強く要望されているが、久喜市の対応について伺う。

答 この場所には、横断歩道が設置されているが、利用者の安全確保や園児、保護者への環境整備という観点からも信号機の設置が必要ではないかと考えている。手押し式信号機の設置が実現できるよう久喜警察署に対して強く要望していく。



杉野 修 議員
(日本共産党)

東鷲宮駅の橋上化・バリアフリー化の今後の振興計画は

問 平成22年度は、橋上化・バリアフリー化のための調査を行ってきた。その内容と今後の見通しは。

答 業者からは、今のエスカレーターなどを使っての橋上化は難しいとの報告を受けている。現在、地下道改修でバリアフリー化を図る調査をしている。

問 そうすると、その内容は、東側からエスカレーターを使って地下道に降り、そこから上りのホームにエレベーターで上がるという手法か。

答 そういう形にならざるを得ないかと思う。



猪股和雄 議員
(政策会議)

ごみ処理行政で、“埋め立てゼロ”をめざすべき

問 久喜宮代衛生組合のごみ行政で、焼却灰などを市外の最終処分場で埋め立てているが、「埋め立てゼロ」をめざすべきである。

答 久喜宮代センターは焼却灰の77%、煤塵の100%、八甫センターは100%をセメント固化や熔融固化して路盤材などにリサイクルしている。菖蒲センターは全量を民間処分場に埋め立てている。不燃残渣はすべて寄居町の県の処分場に埋め立てている。本来なら自区内処理が原則であるが、焼却灰等



矢崎 康 議員
(公明党)

認知症対策について

問 認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者の養成講座の講演会や認知症サポーターの取り組みは。

答 今年度の講演会は、1月28日、久喜総合文化会館小ホールで、介護予防講演会「介護するコツ、されるコツ」に約200人の市民の方が参加。認知症サポーター養成講座はキャラバンメイトとして、各地域包括支援センターの職員が講師を務め、久喜市全域の5会場、地域の集会所や事業所及び小・中学校

要望 バリアフリー法の基本計画では、事業の計画段階で、障がい者や高齢者など「交通弱者」の声を聞き、それを計画に反映するよう求めている。久喜市でもそういう進め方をしていただきたい。

都市計画法違反の事案について

問 許可を得ず建てた建築物を使って違法操業をしてきた事業者がある。この間、議会では是正勧告を求めてきたが、どういう指導をしてきたのか。

答 是正勧告はしていない。

問 違法を認識しながら今だに是正勧告をしていないのは重大な問題だ。久喜市としては「是正内容」はどうあるべきと考えているのか。

答 違反している建築物を除去することである。

要望 それは正しい。住民が安穏な日常に戻るためにも「除去」に全力をあげるべきだ。

を再利用して埋め立て量を減らす努力をしていく。

問 「埋め立てゼロ」を実現可能な目標として明確に打ち出すべきである。

答 不燃残渣が問題でたいへんむずかしいが、将来的な課題であり高い目標に向けてがんばっていく。

その他の質問 ◇菖蒲地区のし尿処理を、現在の北本衛生組合から久喜宮代衛生組合に移管させるべき。◇久喜宮代衛生組合の3焼却炉の更新・統廃合の計画。◇一部の学校の動物飼育の劣悪な環境の改善を。◇学校給食は直営自校調理方式などのよりベターな方式をめざすべき。◇栗橋南小学校でこれまでの自校調理方式の給食を堅持すべきである。◇防災メールの登録者拡大と内容充実を。行政情報メール配信の実施を。◇上下水道部で製造した「安全でおいしい久喜の水」を市民に広げるべきである。

などで開催をした。さらに、市職員の全体研修の一環として認知症サポーター養成講座を実施し、今年度のサポーターの数は2,149名。

問 講演会の充実や一歩前進した内容は。

答 この事業に継続して力を入れて、進めていきたい。講演会は毎年開催予定で、要望があればサポーター養成講座、PR、啓発も進めていきたい。

問 高齢者あんしん協力店制度で、ステッカーを貼って、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しては。

答 店舗等にロバステッカーの掲示をお願いしていく。これは、急がず、一步一步着実に進んでいくというイメージで作ったと言われている。

要望 ロバと老婆。イメージがあまりよくない。今後協議研究いただきたい。



岡崎克巳 議員
(公明党)

運動施設の照明の設置について

問 久喜総合運動公園のテニスコートの利用者から夜間も利用したいとの多くの声を聞く。利用者の健康増進、また、大きな大会の中心会場であることから照明の設置が必要と考えるが、いかがか。

答 平成22年4月1日から平成23年1月31日までの利用件数は2,868件である。また、旧久喜市民テニス大会、埼玉県高等学校関東東部地区テニス予選大会など大きな大会の中心会場であることから、夜間照明設備が必要であると考えている。施設改修や財

政面も考慮した上で順次整備していく。

問 学校体育施設開放事業の中で屋内外の運動場を市民や各団体が多く利用している。屋内運動場は照明があることから、夜間も利用できるが屋外運動場で夜間利用できるのは3校だけである。照明のある屋外運動場を増やすべきであるが、いかがか。

答 学校体育施設開放事業は、学校教育に支障のない範囲において市民の皆様にご利用していただく事業であるが、財政面からも新たな設置は難しいことから、当面、現有の3施設を利用していただきたい。

右折信号の設置について

問 市役所通りの、四間通りと六間通りの交差点の渋滞解消のため、右折信号を設置すべきである。

答 平成22年12月に右折用矢印信号機の設置について、久喜警察署に要望書を提出した。



大谷和子 議員
(飛翔)

桜田1丁目地内の西大輪特定土地 区画整理事業の利活用について

問 西大輪特定土地区画整理事業が完成した。現在桜田1丁目地内にある組合事務所は、公共施設用地と聞いているが、今後この組合事務所の跡地の利活用について計画を伺う。

答 東鷲宮土地区画整理事業により当時の土地利用計画で公共公益施設用地として旧鷲宮町が2,148.7㎡の換地を受けた土地。事務所は、平成11年建築の軽量鉄骨づくり平屋建て134.6㎡。東鷲宮土地区画整理事業の終了に伴い、平成18年7月に東鷲宮土地区画整理組合より無償譲渡。現在は、西大輪特

定土地区画整理組合が平成23年8月ごろまで利用予定。事務所跡地の返還後の利用については、今後庁内で有効な活用方策を検討したい。

要望 現時点では白紙ということだが、東コミュニティーセンター内に設置されている学童保育所をこの場所できないか。東鷲小は児童数の増により学童保育も入所希望がふえると考えられる。恒久的に、この跡地を利用するのではなく、いずれ学校内の空いた教室に学童を設置できるまでの数年間、子供たちに少しでもいい環境を早く用意してあげられるよう要望する。跡地の利活用については、検討結果や内容を今後の議会の中で



▲西大輪特定土地区画整理組合事務所

確認する。



園部茂雄 議員
(政策会議)

古民家の保存について

築100年以上の古民家は重要な文化財としての価値が高く、市内の貴重な文化遺産を保護して、保存すべきだが市の考えを伺う。

問 重要文化財に登録した場合の優遇措置

答 文化財保護条例により有形文化財の建造物になり、固定資産税の減免措置が設けられ、全額を免除する。

問 古民家の保存・活用について市の考えを伺う。

答 所有者あるいは管理者のご意向を踏まえ、ご理解をいただいた上で推進したい。歴史的資源を後世

に伝えていくことは大変重要であり、今後どのような方法で保存、活用が図れるか研究していきたい。

6次産業化の推進について

農山漁村の再生のための改革として、6次産業化法案が本年6月にも施行される。

問 6次産業化の意義や必要性を市として、どのように認識しているか。

答 6次産業化の推進は、本市の農業振興を図る上で大変意義があり、必要であると考えている。

問 今後のその具体策としてはどのような政策を想定しているか。

答 6次産業化法の施行から、農業者に情報提供を図り、具体的な支援に取り組んでいく。

その他の質問 ◇公共施設の耐震化計画について◇簡易違反広告物除却活動の推進



大鹿良夫 議員
(飛翔)

**JR宇都宮線の東側に計画される
栗橋・鷺宮・久喜を結ぶ幹線道路
について**

問 県道阿佐間・幸手線から県道杉戸・久喜線に至る道路計画の方針と手法について伺う。

答 昨年11月に都市計画道路計画策定業務委託を発注し、現在線形の検討や関係機関との調整を行っている。計画幅員は16m。今後地元住民の皆様に対して説明会等を開催し、十分ご理解をいただき、都市計画決定に向けて事業を進めていきたいと考えている。

問 久喜市道栗橋680号線は、栗橋地区佐間の県道

阿佐間・幸手線から栗橋地区島川を経て稲荷木落とし排水路と中川の橋梁を渡り、鷺宮地区八甫に向かう道路である。舗装部分の道幅が4m前後と非常に狭く、車とすれ違くと接触しそうになり、大変危険である。早急に退避場所を設け、安心して通行できるようにしていただきたいが、市の考えを伺う。

答 現在までに2ヵ所の待避所を設置。さらには田んぼへの転落防止対策などを行ってきた。しかし、現状の道路は、舗装幅員が狭く、車両のすれ違いにも苦慮していることや、交通量が年々増加し、非常に危険な状況が続いていることを十分認識している。計画道路が整備されるまでの間、今後も新たな待避所を設けるなど、緊急な安全対策を行い、市民の皆様が安全で安心して通行できるよう努めていきたい。



鈴木精一 議員
(飛翔)

EM菌の活用について

問 EM菌を環境・農業・教育などの分野で活用し、環境に優しいまちづくりをすべきだが。

答 EM菌とは、共存共栄する有用な微生物の集まり。EM菌の活用は、甘棠院の竹林に営巣するサギ糞の悪臭対策や小学校のプール清掃に使用。農業分野では土壌改良剤。今後は、水路や河川等の水質改善に活用できるかを調査研究する。

問 学校プールに積極的に活用すべきだが。

答 全国で1,560の事例報告がある。先進事例を調

査し、市内の小中学校への活用を協議していく。

問 EMを活用した河川浄化に取り組むべきだが。

答 県内で水質浄化の活用事例がある。幸手市では倉松川の浄化がある。早速、問い合わせしノウハウを教えてもらう。市内でも水辺再生に対応していく必要があると考える。



▲中落堀川



鈴木松蔵 議員
(飛翔)

教科書採択(歴史公民)について

問 教育基本法の改正を採択にどう反映させるか。

答 学習指導要領が示した教科の目標に適切しているか等を綿密に調査研究し、慎重に協議、検討した上で、新しい教科書を採択していきたい。

問 教科用図書の採択にあたり、当採択地区の基準はどう定めるのか。

答 埼玉県教育委員会から出された通知「市町村の教育委員会等が教科書を採択するに当たっての採択基準等について」に基づいて実施している。

問 採択の審議の公開を求める。

答 久喜市が属する第13採択地区では、公正確保のため、非公開だが、採択終了後、採択結果等に関する情報は公開となっている。

問 日本の立場を教えることが大切であると思うがいかがか。

答 現在の日本の状況は、国内では少子高齢化が急速に進み、国外では、国家や企業間のグローバル競争が激化している。天然資源に恵まれない日本が、豊かな文化国家を維持していくためには、人材こそが国を支える資源である。国際化が著しく進展する中であって、次代に生きる日本人を育成するためには、諸外国の人々の生活や文化を理解し、尊重するとともに、我が国の文化や伝統を大切にす態度の育成が大切であると考えている。



足立 清 議員
(公明党)

JR東鷲宮駅西口に有料自転車駐輪場建設について市の考えを伺う

問 JR東鷲宮駅西口の無料自転車駐輪場については、自転車の放置や盗難などに対し、十分な対策に至っていない状況である。西口にも有料自転車駐輪場の建設が望まれているが、市の考えを伺う。

答 放置自転車対策としては、これまで駅西口に無料駐輪場を設置し放置自転車の整理や移動などを行ってきたが、抜本的な対策に至っていない。このようなことから市として、西口にも有料自転車駐輪場の整備が必要と考え、23年度に現況調査を予定



田島行雄 議員
(飛翔)

河川改修について

問 椎名地域の用水について、両護岸が崩れ、非常に危険な状態である。また、道路もあちこちが傷み、つぎはぎだらけの状態であり、改修が必要と思うが、市の見解を伺う。

答 この水路は排水路であり、水路延長が1,425メートルのうち未整備区間となっている素掘りの部分の延長は160メートルである。また、未整備区間の水路用地としては幅2メートルから3メートルほどであり、一部市道鷲宮363号線に沿うように位置



井上忠昭 議員
(飛翔)

久喜総合病院について

問 開院時の医療スタッフ体制は。

答 30名の常勤医師と20名の非常勤医師で診療に当たる。看護師は200名弱である。その他、薬剤師、臨床検査技師等については、必要要員のほぼ確保ができていると聞く。開院当初は、300床のうち200床程度が稼働し、順次300床が稼働するような体制にしていきたいとのことである。

問 病院の特徴は。

答 災害時にも医療サービスが提供できるよう優れ

している。

埼玉りそな銀行東鷲宮(出)の窓口業務再開を

問 地域住民の強い要望に応え、地域住民代表と公明党久喜市議団及び会派飛翔有志議員との合同による、窓口業務再開を求める署名活動を行った。大変大きな反響があり、短期間で3,728名の方に署名頂いた。埼玉りそな銀行鷲宮支店へ署名簿を提出し窓口業務再開を強く求めた。市としても強い後押しをお願いしたいが考えを伺う。

答 東鷲宮駅東口周辺の人口増加が著しく、今年も新たに完成の大型マンションの入居も始まると伺っている、さらに銀行業務への需要が高まると思われる。今後とも地域市民の利便性の向上や、多くの市民の署名を頂いたことから、機会あるごとに窓口業務再開を働きかけていきたい。

している。水路の護岸改修については、市道鷲宮363号線の道路と一体的な整備を行っていきたい。

問 天王新堀の浚渫について、ゲリラ豪雨の前に、水位を下げる方策が必要だと思うがいかがか。

答 天王新堀の管理は、青毛堀用悪水路土地改良区が行っており、浚渫は、同土地改良区が行うものと考えているので、十分に協議を行っていきたい。

問 天王新堀にかかる橋について、大雨のたびに川の流れをせきとめる状態になり、大変危険である。早急に改修をお願いしたいと思うが市の考えを伺う。

答 鷲宮地区内にある橋梁の数は全体で95橋ある。ご質問の橋も含めた鷲宮地区に存在する橋について、日ごろから道路パトロールなどの点検をしながら、安全に通行できるよう維持管理に努め、危険箇所等を発見した場合には早急に対応していきたい。

た免震、耐震構造となっており、災害拠点病院の指定を目指す設備となっている。医療面では、リニアックというがん医療で放射線治療を行う機器が、また精密検査が可能なCTや、さらに頭腹部用血管撮影装置、心臓カテーテル用血管撮影装置等の高度な医療機器を導入し、急性期の高度医療を担う地域の中核病院を目指していくことになる。

問 開院時に提供できる医療は。特にがん医療や救急といった基本構想の柱である分野については。

答 20診療科目である。柱のうち、がん医療は環境の整った手術室、抗がん剤治療用の4床の外来化学療法室の設置を、救急は救急科を設置し、院内の広いエリアを確保して、ICU、集中治療室や各種医療機器を整備し、専門医と他の診療科医師が連携して24時間の救急患者受け入れを可能にする。

圏央道対策特別委員会による 行政視察を実施しました

3月3日に、圏央道の進捗状況等について調査するため、圏央道対策特別委員会による現地視察を実施しました。国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所に赴き、現状について説明を受けた後、桶川市周辺の圏央道工事現場と白岡菖蒲インターチェンジの工事現場の視察を行っています。



▲工事現場を視察する委員

委員会

2月定例会では、31件の議案がそれぞれ所管の委員会に付託され、審査が行われました。

予算常任委員会

- 平成22年度久喜市一般会計補正予算(第4号)について 原案可決
- 平成23年度久喜市一般会計予算について 原案可決
※採決において「保健衛生費について補助対象から漏れたものがないかなどを別途検討することを求める」旨の附帯決議案が出され、可決されています。
- 平成22年度久喜市一般会計補正予算(第5号)について 原案可決

総務財政市民常任委員会

- 平成23年度久喜市土地取得特別会計予算について 原案可決
- 久喜市行政改革推進委員会条例 原案可決
- 久喜市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 久喜市公共施設整備基金条例を廃止する条例 原案可決

環境建設水道常任委員会

- 平成22年度久喜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)について 原案可決
- 平成22年度久喜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について 原案可決
- 平成22年度久喜市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)について 原案可決
- 平成22年度久喜市水道事業会計補正予算(第2号)について 原案可決

議員全体研修を実施しました

1月18日に、議員全体研修として、久喜市のごみ等を処理している下記の施設の現地視察を実施しました。

- 菖蒲清掃センター
- 北本地区衛生組合クリーンセンターあさひ
- 久喜宮代清掃センター
- 八甫清掃センター

合併後のごみ処理行政の現状や課題などについて、担当職員の方々からさまざまな説明を受けました。



▲議員全体研修の様子

- 平成23年度久喜市下水道事業特別会計予算について 原案可決
- 平成23年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算について 原案可決
- 平成23年度久喜市土地区画整理事業特別会計予算について 原案可決
- 平成23年度久喜市水道事業会計予算について 原案可決
- 広域利根斎場組合の規約変更について 原案可決
- 字の区域を変更することについて 原案可決
- 路線の認定について 原案可決
- 路線の廃止について 原案可決
- 【継続審査】TPP交渉への参加方針撤回を求める意見書 否決

福祉健康常任委員会

- 平成22年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について 原案可決
- 平成22年度久喜市介護保険特別会計補正予算(第3号)について 原案可決
- 平成22年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について 原案可決
- 平成23年度久喜市国民健康保険特別会計予算について 原案可決
- 平成23年度久喜市介護保険特別会計予算について 原案可決
- 平成23年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算について 原案可決
- 久喜市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 指定管理者の指定について【つばめクラブ他計4議案】 原案可決
- 国民健康保険税の引き下げを求める請願 不採択

陳情

●保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書
埼玉県保育問題協議会 会長 牧 裕子

議会を傍聴してみませんか

○市議会は皆さんが自由に傍聴できます。
本会議 定員50人
委員会、全員協議会、
議会運営委員会 定員15人
○手話通訳をご希望の方は、傍聴したい日の2週間前までに議会事務局にご連絡ください。
TEL 0480-22-1111
(内線5114、5115)
FAX 0480-21-6061
議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

議会の詳細は「会議録」で

議員の発言内容を詳しくお知りになりたい方は、議会事務局、県立及び市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。
なお、2月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は、6月上旬頃になります。

本会議傍聴者数

2月 7日(議案上程)	7人
2月20日(代表質問)	35人
2月22日(一般質問)	26人
2月23日(一般質問)	12人
2月24日(一般質問)	15人
2月28日(一般質問)	19人
3月 2日(議案質疑)	9人
3月18日(討論・採決)	9人
合計	132人

委員会傍聴者数

1月31日(議会運営委員会)	0人
3月 4日(予算常任委員会)	2人
3月 7日(予算常任委員会)	2人
3月 8日(予算常任委員会)	1人
3月 9日(総務財政市民常任委員会)	0人
3月10日(環境建設水道常任委員会)	1人
3月11日(福祉健康常任委員会)	27人
3月14日(福祉健康常任委員会)	15人
合計	48人

編集後記

3月11日、東北地方太平洋沖地震が発生したのは福祉健康常任委員会開催中のことでした。委員会は市役所4階で開かれておりましたが、即延期、外に出るよう指示があり、全員階段で下り、庁舎前の庭に集まりました。その後テレビ、ラジオ等で津波による大惨事が報じられ災害の大きさに驚いた次第です。

久喜市議会議員クラブでは義援金募金活動を3月下旬に4日間行い、久喜

市民の温かいお気持ちを沢山頂きました。多くの住民の皆様は勿論、その中でも幼児から小中高生の皆様までご協力を頂き、議員一同大変感謝しております。

5月に入り、被災者の皆様は復興に全力投球されておられるでしょうが、皆様の健康もご留意のことお祈り申し上げます。(田村)



広報委員会委員

- ◎ 大谷 和子
- 園部 茂雄
- 石田 利春
- 井上 忠昭
- 田村 栄子
- 齋藤 広子
- 盛永 圭子
- 柿沼 繁男
- 猪股 和雄
- 岸 輝美
- 梅田 修一

(◎委員長 ○副委員長)

平成23年2月定例会本会議出席状況

○出席 ×欠席

議席番号	氏名(会派)	2月7日	2月20日	2月22日	2月23日	2月24日	2月28日	3月2日	3月18日
1	渡辺 昌代(共産党)	○	○	○	○	○	○	○	○
2	石田 利春(共産党)	○	○	○	○	○	○	○	○
3	木村 奉憲(共産党)	○	○	○	○	○	○	○	○
4	杉野 修(共産党)	○	○	○	○	○	○	○	○
5	梅田 修一(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
6	井上 忠昭(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
7	大谷 和子(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
8	上條 哲弘(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
9	園部 茂雄(政策会議)	○	○	○	○	○	○	○	○
10	春山 千明(政策会議)	○	○	○	○	○	○	○	○
11	富澤 孝至(政策会議)	○	○	○	○	○	○	○	○
12	田村 栄子(無会派)	○	○	○	○	○	○	○	○
13	齋藤 広子(公明党)	○	○	○	○	○	○	○	○
14	矢崎 康(公明党)	○	○	○	○	○	○	○	○
15	鈴木 精一(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
16	並木 隆一(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
17	田島 行雄(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
18	鈴木 松蔵(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
19	盛永 圭子(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
20	柿沼 繁男(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
21	猪股 和雄(政策会議)	○	○	○	○	○	○	○	○
22	石川 忠義(政策会議)	○	○	○	○	○	○	○	○
23	新井 勝行(政策会議)	○	○	○	○	○	○	○	○
24	内田 正(政策会議)	○	○	○	○	○	○	○	○
25	岡崎 克巳(公明党)	○	○	○	○	○	○	○	○
26	足立 清(公明党)	○	○	○	○	○	○	○	○
27	戸ヶ崎 博(公明党)	○	○	○	○	○	○	○	○
28	松村 茂夫(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
29	青木 信男(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
30	宮崎 利造(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
31	大鹿 良夫(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
32	山田 達雄(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
33	岸 輝美(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○
34	鎌田 忠保(飛翔)	○	○	○	○	○	○	○	○

◆コスト表示：平成23年度の久喜市議会だよりは、1部当たり9.12円で製作しています。